

事業名	② 下水道事業	担当部署	産業建設部・上下水道課・下水道管理担当
-----	---------	------	---------------------

市の取組への評価・課題	具体的な対応策・提案	コーディネーターによる意見のまとめ
<p>【評価○】 ・きれいな水源の水質を維持するにあたり、とても重要かつ大切な事業である。</p> <p>【課題】 ・「平成の名水100選」にも選ばれる「名水のまち都留」ではあるが、公共用水域の水質はあまりきれいとはいえず、下水道接続に係る普及率は低いといえる。</p> <p>・川に下水を流すことに抵抗感のない、昔からの川に対する市民の価値観が、事業の進行を阻害しているように思える。</p> <p>・浄化槽・下水道の仕組みを知らない人も多く、下水道に接続しても自分が得をするわけではない、と捉える人もいる。</p>	<p>・インパクトのあるPR映像を作成し、普及率向上への啓発活動を強化してはどうか。また、今回の説明で使われていたパワーポイントの資料もとても分かりやすかったので活用すべきである。</p> <p>・理解をいただけない地域等には、行政からだけでなく、水質汚染等、環境問題として「水を守る会」等の市民団体等を通して啓発をしていくのはどうか。</p> <p>・行政側からだけでなく、個人個人である市民からの啓発は必要であり、自分たちの川であることを意識するべきである。浄化槽や下水道に関する補助金についても、その意味を知るべき。</p> <p>・モデル地を決めて、地区ぐるみで汚水を少なくする取り組みを行う、子供のポスター等を作成させる等の、多角的なアプローチを試みてはどうか。</p> <p>・子どもたちが川で遊べるような場所、公園等を作り、水の大切さを市民に理解させるのはどうか。</p> <p>・受益者負担金や下水道使用料、排水設備設置工事費補助金を見直しを行ってみてはどうか。</p> <p>・市としてきれいな水のイメージを売り込んでいるので、担当だけでなく、市全体として改善に取り組む必要があり、全世代的に知識を共有するべき。</p>	<p>・まず、汚水処理の現状に驚いたということ。</p> <p>・事業は水質を保つ上で非常に重要であり、またそれを啓発していくことは十分に理解できるが、金銭的な問題も発生してくる。どこまでそこに予算をつぎ込むのか。</p> <p>・この問題を、この場だけで終わってしまわないようにすべきであり、問題があることを市民に知ってもらい、という意味合いの啓発が、市民の環境に関する意識を変えるために必要である。</p>